

# 大牟田市立倉永小学校

## 1 本校のESDの特徴

倉永小学校区は、豊かな自然に恵まれ、福祉施設や高等学校、歴史的な文化財等が数多く存在している。地域のつながりが強く、公民館活動も盛んである。他地域と比べて三世代同居が多く、教育に関しても熱心である。

本校は、「家庭や地域の人々とともに児童を育てる」を学校理念とし、ESDを児童が家庭や地域とのつながりを深め、未来の日本社会や郷土を支える力を育む教育活動と捉えている。ESDの実践を通して、友だちや地域の人々と協働して課題解決を図る力の育成を目標としている。

具体的には、総合的な学習の時間を柱として、各教科と関連させて取り組み、主に「福祉」や「地域文化財」、「環境」に関わる活動を行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- |                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| (1) 1年生「いきものとなかよし」(環境)                | 生活科       |
| (2) 2年生「レッツゴー!まちたんけん」(環境)             | 生活科       |
| (3) 3年生「ワクワクドキドキお話探偵団」(読書活動)          | 総合的な学習の時間 |
| 「倉永っこ見守り隊」(地域)                        | 総合的な学習の時間 |
| (4) 4年生「地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々」(地域伝統文化) | 総合的な学習の時間 |
| 「ゴミ減量大作戦」(環境)                         | 総合的な学習の時間 |
| (5) 5年生「倉永ふるさと再発見」(地域文化財)             | 総合的な学習の時間 |
| 「災害に強いまちづくり」(防災)                      | 総合的な学習の時間 |
| (6) 6年生「倉永スマイルプロジェクト」(福祉)             | 総合的な学習の時間 |
| 「歴史を通して未来を見つめよう」(世界遺産)                | 総合的な学習の時間 |

## 3 特徴的な活動事例

### 【5年生「倉永ふるさと再発見」(地域文化財) 24時間】

#### (1) ねらい

- 校区の史跡や歴史について、地域の方の話を聞いたり調べに行ったりする活動を通して、自分たちの校区にある史跡の素晴らしさに気づき、それを守っていこうとする心情を育てる。

#### (2) 学習の流れ

- ① 倉永校区の素晴らしいところについて話し合い、課題を見つける。
- ② 倉永校区にある史跡についてGTとともに調べる。
- ③ 調べたことをもとに、全校児童や地域の方、保護者とともに史跡を巡る「倉永スタンプラリー」を行い、5年生が史跡のよさや価値について伝える。

#### (3) 子ども達の様子

##### ○実践1

子ども達は、1年生の頃から「倉永スタンプラリー」を通して、校区にたくさんの史跡があることは知っている。しかし、その史跡の歴史やその史跡を地域の方が守ってきた思いや願いは知らない。地域の方とともに校区にある史跡を巡り、その中

11 住み続けられる  
まちづくりを



で史跡にある歴史やその史跡を守ってきた地域の方の話聞くことで、これまで知らなかった史跡の深い歴史を知ることができた。校区にある史跡を大事にしていきたいという思いをもつことができた。

#### ○実践2

毎年、全校児童や地域、保護者と史跡を巡る「倉永スタンプラリー」を実施しているが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となった。そこで、今年は学んだことを低学年に向けて「校内倉永スタンプラリー」を行った。低学年の子どもたちは、校区にある史跡について初めて知り、驚きの声を挙げていた。5年生の子どもたちは、低学年への説明を通して、史跡について振り返り、地域の素晴らしい史跡を守ってきたいという思いを強くもつことができた。



### 【5年生「災害に強いまちづくり」(防災) 23時間】

#### (1) ねらい

- 自然災害等の現状や、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、自らの安全を確保するための的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動ができるようにする。



#### (2) 学習の流れ

- ①自然災害の等の現状や原因について考え、校区にある防災施設について調べる。
- ②福岡市防災センターを訪問し、災害の恐ろしさや減災について学ぶ。
- ③災害に直面した時、どのように行動や選択をすべきか考え、防災の備えを実践する。

#### (3) 子どもたちの様子

##### ○実践1

福岡市防災センターを訪問し、震度6強の地震を体験したり、火事が起こった時の消火器訓練をしたりして、災害の恐ろしさを学ぶことができた。実際に体験することで、災害時や災害後の行動をどのようにすればよいか、考えることができた。



##### ○実践2

火災が起こった時の逃げ方や非常用持ち出し袋の中身、地震が起こった時の対処の仕方等、防災学習で学んだことを避難訓練の際に全校児童に向けて発表を行った。子どもたちは、災害は身近に起こるものであり、いつ起こるか分からないので、事前に考えて対処方法を知っておくことが大事という思いをもつことができた。



## 4 本年度の成果と課題

#### ○成果

- ・新しく「災害に強いまちづくり」に取り組み、子どもたちは防災についての意識を高め、自らの安全を確保するための思考力・判断力を育むことができた。

#### ○課題

- ・「災害に強いまちづくり」では、地域の方と協働して防災を進めることができるようカリキュラムの充実を図る。